

夢をつなぐ

いろんな不思議について考えよう！ —うらやすこども大学—

うらやすこども大学では、6つの大学（明海大学・順天堂大学・了徳寺大学・明治大学・千葉大学・千葉工業大学）の協力を得て、市内の小学校4・5年生を対象に、「たてものの不思議」「ひどの不思議」「昆虫の不思議」等、知的好奇心を揺さぶる特別な授業（全7回）を展開し、未来の浦安を担う子どもたちを育成しています。今年度については、すでに4回目までを終了し、さらに3つの不思議について学習をします。

最終日は、市民プラザWave101にてゲストに講演をしていただき、修了式を行う予定です。今年度のゲストは誰になるのが楽しみです。 ※参加児童の募集は締め切っています



明海大学「たてものの不思議」

参加者の声



長尾 洋幸さん

みんなでチームワークよく、一緒に
お家とか公園とかが出来て楽しかった
です。こども大学を受けて、病院の先
生とか建築家になってみたいと思いま
した。



樋口 理帆さん

みんなで家を作って、屋根をデザインしたり、赤
ちゃんのお世話をしたりして、楽しかった。将来の夢
はアナウンサーになりたいけれど、授業を受けて、建
築家もデザインが楽しそうだから、やってみたく思
いました。

音楽でつながる うらやす管弦楽フェスティバル2017

今年で3回目となるうらやす管弦楽フェスティバル2017が、文化会館で8月11日～13日の3日間開催されました。今年は小学校3年生から高校生まで70人が参加しました。弦楽器を初めて触る子どもたちは短い時間の中で一生懸命練習し、最終日のコンサートでは気持ちのこもった音色を奏でることができました。



日本の文化を受け継ぐ 体験！中学生弓道コース

浦安市総合体育館では、浦安市弓道連盟の方を講師に招き、弓道の経験がない中学生を対象にした体験会を行いました。全5回の講座では、中学生にとってあまり馴染みのないスポーツを基礎からやさしく学び、武道特有の礼儀作法や心構えについても学ぶことができます。

武道特有の雰囲気にはじめは緊張した面持ちでしたが、「はじめてでもわかりやすかった。」「まっすぐ矢が飛んだ時や、的にあたったときはすごくうれしかった。」「弓を引くの力が大変だとわかった。」と、練習を重ねるごとに、弓道の楽しさを感じています。



富岡公民館ランニング広場 ～元オリンピック選手と一緒に走って オリンピックを目指そう～

毎年、6月15日の県民の日に、市内の各生涯学習施設において「うらやすまるごとこども広場」を開催し、たくさんの講座やイベントが行われています。

富岡公民館では、メキシコ・ミュンヘン・モントリオールオリンピックマラソン代表選手として活躍された宇佐美彰朗さんを講師に招き、浦安市運動公園陸上競技場においてランニング教室を開催しました。子どもたちは、低学年と高学年のグループに分かれ、ランニングフォームや体の動かし方を楽しみながら学ぶことができました。



社会へつなぐ

公民館で社会のしくみを実体験

中央公民館事業「うらやす子ども起業塾」と高洲・日の出公民館合同事業「ビジネスキッズ隊」では、起業体験することによりビジネスや地域社会について考える活動を、年間を通じた取組として実施しています。

▶浦安の町を笑顔にする「うらやす子ども起業塾」

「うらやす子ども起業塾」では、「浦安の町を笑顔にするにはどんなことが必要か」をテーマに、会社(店)をつくり、予算の中でお金をやりくりする体験を通して、お金の大切さを学びます。小学校5年生から中学校3年生を対象に、平成26年度から活動を開始し、現在4期生15名が参加しています。起業塾の先輩も活動に参加し、後輩をサポートします。地域でのインタビューで集めた声を参考に、「体験型雑貨屋」や「お母さんやお父さんがゆっくりできるパンケーキ屋」にお店を決定し、10月の出店を目指して準備を進めています。



お店の方から、運営の仕方を学びました

▶ぼくたち、わたしたちの会社をつくろう「ビジネスキッズ隊」

「ビジネスキッズ隊」は、小学校3年生から6年生を対象に、「自ら考え、自ら創り、自ら稼ぐ」という経験を通して、会社経営や経済の仕組みについて学びます。6月には、日本証券業協会の方を講師に招き「チャレンジ！お菓子の株式会社」を実施し、お菓子のパッケージを作りながら株式会社の仕組みを学びました。夏休みには「明海の丘夏祭り」に出店し、イベントの企画・運営を行いました。子どもたちは、学年や学区の異なる仲間と活動することで、ふだんと違う一面を発見したり、地域のつながりを意識したりすることができました。現在は、高洲公民館と日の出公民館で行う秋のイベントに向けて、準備を進めています。



割りばし鉄砲で行う射的をレクチャー

未来へ命をつなぐ ふれあい体験～赤ちゃんとおそぼう～

東野児童センターでは、市内在住の小中学生や高校生を対象に、夏休みの特別企画として「ふれあい体験」を実施しました。

助産師や保育士から妊娠・出産・子育てについて話を聞き、実際に赤ちゃんとおふれあうことで、「お母さんは大変なことを乗り越えて自分を産んでくれたことがわかった。」「赤ちゃんは本当に小さくて、生きていることはすごいことだと思った。」と、命の大切さや重みを感じる時間になりました。



H29 浦安市教育に関する意識調査（保護者） 将来や進路についての話をする

